

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第60巻第12号をお届けします。本号には、原著1編、研究ノート2編と会員の声1編が掲載されています。前回編集後記を書かせていただいた号では原著がなかったのが残念だったのですが、本号に掲載された原著論文は、核家族化が進み地域社会のつながりの希薄化が指摘されている現代において、乳児をもつ母親の孤独感とソーシャルネットワークやソーシャルサポートの関連という大変重要なテーマに取り組まれた力作です。10月に開催された第72回総会でも、特別プログラム基調講演で、ハーヴァード大学からおいでくださった Ichiro Kawachi 先生が、健康の社会的決定因子の重要性を強調されていましたが（会場でも販売されていた、Kawachi 先生が一般向けに書かれた近著『命の格差は止められるか ハーバード日本人教授の、世界が注目する授業』はコンパクトで読みやすい入門書になっていて、講義で学生にも一読を勧めています）、このようなテーマは、ソーシャルキャピタルの評価方法やマルチレベル分析などの分析手法の発展が著しい分野でもありますし、公衆衛生学において今後ますます重要になっていくと思われます。

研究ノートは、これまでにも多くの健康寿命についてのご研究をされてきた橋本先生のグループにより、健康日本21（第二次）に謳われた健康寿命の目標を達成する条件をシナリオに基づくシミュレーションで検討されたものが1編、都市部の集合住宅に居住する高齢者を対象

次号予告（第61巻・第1号）

原著

幼児の行動特異性にみた母親の育児困難感とその関連要因……………坂田 祥, 他

研究ノート

日別出生数からみた社会的要因による出生日選好傾向の現状……………高橋美保子, 他
地域在住高齢者による自主グループ設立過程と関連要因……………福嶋 篤, 他

資料

保健所における精神保健福祉業務の現状と課題……………赤澤正人, 他

に、健康相談の必要性についての意識調査を行ったものが1編でした。それぞれ意欲的な取り組みで、今後より一層の研究の進展が期待されます。

地域がん検診の検診車における医師立ち合いの必要性を巡って起こった問題について取り上げられた会員の声は、法律と行政のあり方が曖昧なために起こっている問題が他にも多々あることが思い起こされ、とても刺激を受けました。今後も本誌らしくバラエティに富んだご投稿を期待します。 (中澤 港)

日本ビタミン学会第66回大会「ビタミン研究の新たな飛躍 —一次世代につなぐ基礎・臨床・トランスレーショナルリサーチ—」

1. 主催：一般社団法人 日本ビタミン学会
2. 会期：2014年6月13日（金）～14日（土）
3. 会場：姫路商工会議所 〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43
4. 開催内容：
 - 一般講演
 - 受賞講演
 - シンポジウム

「ビタミン・バイオフィクタートランスポーター研究の最前線」
「栄養と臨床におけるビタミンの遺伝子多型に基づいたテーラーメイド摂取の有用性」

 - 教育講演「One carbon metabolism から見た胎生期環境と生活習慣病」
 - 文化講演「黒田官兵衛の魅力」
5. 演題申込期間：

平成26年1月6日（月）～2月3日（月）24時まで。
日本ビタミン学会ホームページ上のみで受付。 <https://jpp1.jp/vitamin/>
6. 事前参加登録締切日：平成26年5月9日（金）
〈連絡問合せ先〉
日本ビタミン学会大会事務局
〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4 日本イタリア会館
TEL：075-751-0314；FAX：075-751-2870 E-mail：vsojkn@mbox.kyoto-inet.or.jp